

アコムモード

第28号

タイムズ

編集・発行

社会福祉法人 アコムモード

- 特養ホーム
- デイサービスセンター
- ヘルパーステーション
- 訪問入浴介護事業所
- 在宅介護支援センター
(居宅介護支援事業所)
- アンジェリカ保育園
- ケアホームアザレア
- 我孫子市老人福祉センターつつじ荘

千葉県我孫子市布佐1559-2

Tel.04(7189)5201・Fax.04(7189)5203



笑顔で活力のある職場を目指して

特養ホーム生活相談員 金井雄司

新春とは申しながらまだ厳しい寒さが続いておりましたが、いかがお過ごしでしょうか。謹んで皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年の4月から生活相談員を務めさせていただき、まだまだ半人前な私ですが、なんとか新年を迎えることができました。介護の世界に足を踏み入れてから、今年で10年目に突入し、高齢者福祉の奥の深さ、仕事としてのやりがいを感じております。

さて、介護保険制度も導入から10年が過ぎ、2度目の制度改正も目前に迫ってきておりますが、様々な課題のひとつに、「介護職員の専門性の構築や、外国人介護士の受入れ、等といった対応策も進んでいるところでもあります。それと共に、福祉に従事する私達が、元気に、笑顔で、活気みなぎる職場を自ら作り上げていこうと、努力をすることが必要だと思っております。

当法人も職員一同、毎日を元気に、笑顔で頑張り参りますので、本年度も皆様のご指導・鞭撻のほどを、よろしくお願いいたします。

納涼祭

「工夫すること」の大切さ

〜平成22年7月31日〜

平成22年は例年をしのぐ猛暑で、連日真夏日が続きました。そんな暑さも真つ只中の7月31日、陽も傾き、多少は暑さも和らぎかけた夕方に、アコモード恒例行事の納涼祭が執り行われました。

今回で15回目となった納涼祭でしたが、準備は約2ヶ月前から実行委員会が中心となり、各部署間で協力をしながら進められました。その過程で毎回委員の頭を悩ませているのがプログラムの内容なのですが、よく施設長からも、「マンネリになるな」と檄を飛ばされながら、試行錯誤が繰り返

返されました。

その結果、今回は河童太鼓やロックソーランといった例年行われているものの他に、チリの伝統的なダンスや、「銭太鼓（筒状の音の出るリズム楽器に合わせて演じる民族舞踏）」といった新たな演目を、ボランティアの方々のご協力により披露していただくことができました。有難いことにご利用者やご家族から好評をいただくことができました。現状に満足してしまつたらそこから成長はありません。今回の納涼祭でも反省点は沢山あります。現状の改善点をよく理解し、もっと良くしていくにはどうしたらいいかを創意工夫し、実践していく。毎日のケアの提供の中でも大切なことです。



敬老会

元気に自分らしく暮らす

〜平成22年9月20日〜

特養ホームとデイサービスのご利用者にお集まりいただき、ご長寿とご健康をお祝いいたしました。

最長寿(105歳)のご利用者のご家族からのご挨拶を、職員にとっては励みになると同時に身の引き締まる気持ちで聞かせていただきました。出し物では、デイサービスのご利用者が練習を積み重ねた歌声で歌謡曲を披露され、私達が逆に元気をいただく形となりました。日本は世界一の長寿国と言われています。

健康で長生きする方が増えることは嬉しいこととありますが、その一方で、所在不明の高齢者が相次いで確認される等悲しい現実もあります。福祉に従事する私達が目指しているかなければならないことは、単に長生きということではなく、ご利用される皆様が、いつまでも元気で健康に、自分らしく暮らしていただけるよう、「生活の質」向上のお手伝いをするのだと思っています。



ソフト食導入

『好評です！ソフト食』

ソフト食。どんな食事を想像しますか？ 噛む事や飲みこむ事が難しくなってきた方に提供するお食事です。

口の中で簡単に潰せ、食材がバラバラになつたりべたついたりしないムースのような食感が特徴です。アコモードでは、「ペースト食」として普通食をミキサーにかけドロツとした状態でお出ししていただきました。形状も分からず、味も薄くなるのもっと美味しく楽しい食事を頂くために昨年からムース食の導入を始めています。年末はお餅のムースのお汁粉、お正月はおせちを召し上がって頂き大変好評でした。

より良い食事を目指して試行錯誤の日々ですが、ご利用者の皆様に安心して召し上がって頂けるよう努力していきたいと思っております。



地域包括支援センター

高齢者が暮らしやすい地域づくりへ

～地域包括支援センター開設～

アコモードでは現在、高齢者やその家族の為の総合的な相談窓口である在宅介護支援センターを市から委託され運営しています。

その在宅介護支援センターが、平成23年度より、機能をさらに充実させた「地域包括支援センター」として新たに始動することになりました。

この「地域包括支援センター」は、平成18年の介護保険法改正で新たに創設されたもので、主任ケアマネージャー、社会福祉士、保健師などが中心となって高齢者の支援を行います。総合相談窓口としてだけでなく、要介護状態になる前の要支援1・2の認定を受けた方や、要支援・要介護状態になる恐れのある方に対して介護予防のお手伝いをします。他にも、権利擁護に関する支援や、地域ケアマネージャーが円滑に仕事をできるように支援を行っています。

また、地域高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な機関とネットワーク作りを行います。これまで我孫子市には地域包括支援センターが市役所内の一か所でしたが、今後はアコモードを始めとして、順次地域ごとに整備されることとなります。アコモードが支援を行う地域は、基本的に、布佐・新木地区にお住まいの高齢者の方になりますので宜しくお願いします。



デイサービスセンター行事食

様々なかたちで「食」の楽しみ提供

デイサービスセンターでは、昨年からの趣向を凝らした行事食を提供しています。そのいくつかをご紹介します。

6月には中庭に青竹を設置して流しそつめんを行いました。次々と流れてくるそつめんをすくいあげるのは大変でしたが皆様笑顔で楽しまれ、お腹一杯召し上がりました。また、溪流のような涼しげな音も響き、爽やかな気分になることもできたのではないのでしょうか。

7月は焼き肉、8月は焼きそばを、鉄

板を使ってご利用者の目の前でつくりました。お肉の焼ける音や、ソースの香ばしい香りに皆様食欲をそそられて箸が進んだようです。

他にも鉄板でぐらやきや

チャーハンもつくり、

皆様に好評を

いただいております。

今後はお好み焼きや、

パンケーキ等を

予定していますので、

皆様、お楽しみに！





4コマ漫画 風邪

JKAオートレース補助事業完了のお知らせ

この度、財団法人JKAから、平成22年度オートレースの補助金交付を受け、左記の事業を完了致しました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、財団法人JKAをはじめ、ご協力を賜りました関係者各位に対して謹んで感謝の意を表します。

〈事業名〉平成22年度老人福祉施設の車両整備補助事業

〈事業内容〉乗降用リフト付き

自動車1台(日産キャラバン)

平成22年8月より活躍しています。



出産報告

介護員の太田綾子さんにお子さんが誕生しました。健やかな成長を願っています。



陸斗りくとくん

平成22年11月29日生

3570g



結婚報告

介護主任の松田弘樹さん(27)が、山田桃子さん(27)と、8年間の交際を契り、平成22年5月19日に入籍しました。2人は、福祉の専門学生時代に知り合い、職場は違いますが、同じ介護の道を進んできました。これからもお互い支え合って様々な出来事も乗り越えていくことでしょう。

お幸せに!!



今後の予定

- 1月 新年祝賀会
- 2月 節分
- 3月 桃の節句
- 4月 お花見
- 5月 端午の節句
母の日
- 6月 創立記念日
父の日
あやめ祭



あとがき

新年明けましておめでとございます。

新しい年を迎えるにあたり、なにか目標を一つ掲げてみると、気持ちも引き締め、日々の生活に張りが出る気がします。

今年も卯年です。ウサギの様に飛躍的なステップアップを目標として、皆様に満足して頂けるサービスを提供できるよう、職員一同、頑張っていきたいと思っております。

本年も宜しくお願致します。

(広報委員一同)